

第4回帯広市自転車活用推進計画策定検討協議会 議事録

1 日時・会場 令和5年1月19日(木) 14:00～14:30 市庁舎10階第5A会議室

2 出席者

(1) 委員 高橋 清、西尾 峰明、須田 健介、須藤 克志、石崎 雅史、桐山 知彦、
深谷 弘明、猪又 博高、広沢 正明、高間 裕一、谷澤 正和、佐藤 淳、
磯野 照弘、西島 新一
(以上、14名、順不同、敬称略)

(2) 事務局 観光交流室長 加藤 帝、観光交流課長補佐 阿部 恭子、
都市政策課長 岡田 剛、都市政策課交通政策係長 涌井 一憲

3 会議次第

(1) 開会

(2) 議事

ア パブリックコメントの実施結果について(報告)

実施結果について下記のとおり報告。

- ・意見等の提出件数 1件
- ・意見等の提出方法 メール
- ・意見等の取り扱い 今後の参考とする
- ・公表の有無 無(政策等の案と関係ないものであるため)
- ・意見等の内容

安全・安心な自転車利用の普及啓発のための講師派遣及び自転車の交通ルール・マナーに係る冊子等の情報提供

イ 帯広市自転車活用推進計画(案)について(協議)

(3) その他

(4) 閉会

4 議事及び質疑

(1) 開会

事務局から出席者数を報告し、開会した。

(2) 議事

ア パブリックコメントの実施結果について(報告)

<質疑等> 特になし

イ 帯広市自転車活用推進計画（案）について（協議）

<質疑等>

（高橋委員） 自動車利用 70%を超えるまちでの自転車活用の推進はチャレンジングな取り組みであり、評価したい。トカプチ 400 しか知らなかったが、帯広市がどういう状況か知ることができて大変嬉しく思っている。

計画の記載について、計画案 P34 の「自転車ネットワーク」について、「歩行者・自転車・自動車が適切に分離された自転車通行空間を整備します。」とあるが、多様な整備方法があることから、「安全で快適な自転車通行空間を整備します。」としてはどうか。

（事務局） そのように修正する。

（高橋委員） 最後に意見として、計画を立てておしまいではない。どう推進するかが課題。計画策定後の見直しがポイントとなる。計画案では、「計画策定後 5 年を経過した段階で中間見直しを行うとともに、上位・関連計画の見直しや、自転車を取り巻く社会環境の変化等により、必要に応じて見直しを行います。」とあるが、見直しが必要と判断するのは誰か、こういったときかを明確にしておきたい。基本は毎年のデータを基にしたしっかりとしたモニタリングや見直しが重要。策定後は、「(仮称) 帯広市自転車活用推進連携会議」において P D C A が行われるということを今後も関わっていく皆さんにお含みおきいただきたい。ナショナルサイクルルートが走る地域であることから、全国・海外から人が入ってくるため、市民だけではなく外部の意見も鑑みながら P C D A を行ってほしい。

（事務局） アンケートを毎年実施するなどデータ収集に努め、年 1 回は「(仮称) 帯広市自転車活用推進連携会議」において構成員の皆様への状況報告やご意見聴取を行っていく。

(3) その他・閉会

事務局から、策定までの流れのお知らせと次年度における「(仮称) 帯広市自転車活用推進連携会議」への参画、本計画の施策推進への協力を依頼し、閉会した。